

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	「広聴室」関係経費		担当部局庁	大臣官房 外務報道官組織		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	国内広報課		課長 佐久間 研二	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅲ-2 報道対策、国内広報、IT広報			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成14年8月の外務省改革「行動計画」の「Ⅷ. 広報・広聴体制の再構築」に従い国民の意見に広く耳を傾け、外交政策の企画・立案過程に適切に位置づけることを目的として、平成15年1月1日に設置された「広聴室」による広聴活動の主要業務である電子メールによる意見への対応及び電話による意見への対応を今後も展開していくもの。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①IT窓口(メール班) 電子メールによる意見の端末上の第一次処理作業(受付、データ処理・変換、整理・分類、報告書原案作成)、回答発出、必要なデータ処理・検索作業、中長期報告書作成に必要な検索・基礎データ作成作業等を行うことを目的とし雇用するもの。 ②対外窓口(電話班) 電話による意見聴取のため、国民からの電話に適切に対応し、意見内容を取りまとめ報告書を作成の上、省内幹部及び関係各課に配布することを目的とした、外交・国際問題に関する十分な知識を有し、適切な電話対応を行い得る人材を雇用するもの。 ①IT窓口(メール班:派遣職員):2名 ②対外窓口(電話班:非常勤職員):3名/日(6名を雇用し、1日当たり3名ずつで対応)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	13	13	13	11	
		補正予算	-	-	-	-	
		繰越し等	-	▲1	-	-	
	計	13	12	13	11	11	
	執行額	12	11	10			
執行率(%)	89	87.7	79.1				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	人件費のため、定量的な成果目標の提示は困難。 (参考)成果実績:メール及び電話班の受付件数		成果実績	件	電話:3,582	電話:3,320	電話:4,444
		達成度	件	メール:74,351	メール:63,436	メール:115,118	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	要員数(電話班及びメール班)		活動実績 (当初見込み)	人	5	5	5 (5)
単位当たりコスト	2,046,223(円/1名分)		算出根拠	年間人件費(X):10,231,116円 人数(Y):5名 (X)÷(Y)			
平成23年度 (単位:千円) 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	メール班人件費	3,853	3,876				
	電話班人件費	6,885	6,885				
	計	10,738	10,761				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>IT窓口(メール班)については、一般競争入札を行っている。          対外窓口(電話班)の人材については、当省HPに募集要項を掲載する等して、採用については公平性を確保し、公募により選考している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

外務省  
11百万円

〔 広聴室業務における人件費 〕

〔 一般競争入札 〕

〔 公募 〕

A. 株式会社キャリア  
4百万円

B. 非常勤職員（計6名）  
7百万円

〔 ①IT窓口（メール班） 〕

〔 ②対外窓口（電話班） 〕

資金の流れ  
（資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する）  
（単位：百万円）

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 株式会社 キャリア			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人材派遣給与(IT窓口業務メール班2名分)	4			
計		4	計		0
B. 非常勤職員			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	賃金(対外窓口電話班6名分)	7			
計		7	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)キャリア	IT窓口(メール班)業務2名分	3.6	7	62
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員A	対外窓口(電話班)業務	1.4	—	—
2	非常勤職員B	対外窓口(電話班)業務	1.2	—	—
3	非常勤職員C	対外窓口(電話班)業務	1.2	—	—
4	非常勤職員D	対外窓口(電話班)業務	1	—	—
5	非常勤職員E	対外窓口(電話班)業務	0.9	—	—
6	非常勤職員F	対外窓口(電話班)業務	0.8	—	—
7					
8					
9					
10					